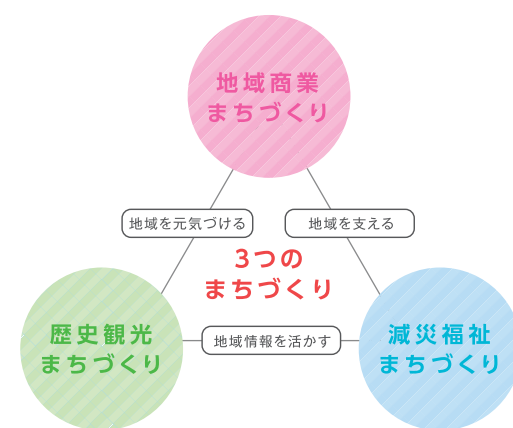


このまちの未来を、 地域と一緒に作りあげていく。

名古屋学院大学COC事業「PROJECT&N」は、3つのまちづくりアプローチを通して、
キャンパスのある名古屋市、瀬戸市を地元の皆さんと一緒に盛り上げていく、
地域との連携事業です。

名古屋学院大学が取り組む 「3つのまちづくり」

「地域商業」「歴史観光」「減災福祉」の3つのまちづくり
アプローチから、地域の課題を解決していきます。
それによって、名古屋市、瀬戸市の活力を取り戻し、
持続性の高い地域づくり、
すなわち「地域の質(Quality of Community)」の向上を図ります。



地域商業まちづくり

商学連携ロールモデルの展開による経済効果の増大を促進

- 学生参加による地域商業活性化(商店街連携事業、地域イベントのサポート)
- 域外居住者にとって魅力的な名古屋市熱田区の地域ブランドを創出
- 学生が運営するカフェ「マイルポスト」を核とした大学周辺の人的交流促進 等



歴史観光まちづくり

歴史の掘起こしや地域資源の発掘による地域愛の育成と歴史観光の推進

- 地域資源のコンテンツ(アニメキャラクター等)開発による若年層への地域PR
- 外国語学部生を中心とした大学周辺地域の英語観光案内による観光産業活性化
- 地域資源の活用方法や、訪問客に向けたツーリズムの提案 等



減災福祉まちづくり

地域連携による学生パワーを活かした災害に強いひとづくり・まちづくり

- 東日本大震災の経験を、名古屋・瀬戸での減災防災活動に活かす取組
- 都会の中でスポッ的に高齢化が進むエリアでの孤立を生まない事業
- 健康運動教室や体操普及活動で地域の多世代交流を促進 等



地(知)の拠点整備事業

COCとは?

※Center Of Community

大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。

「地(知)の拠点整備事業」 大学COC事業 PROJECT & N

WHAT'S「PROJECT&N」

このまちの未来のために、名古屋学院大学にできること。
名称の「&N」は名古屋学院大学のNのこと。
私たちが地域にもっと近づきたい、力をかけあわせ、さらに盛り上げて
いきたい、その意思を表しています。



主な地域連携活動

<p>地域商業 まちづくりカフェ「マイルポスト」</p> <p>焼きたてパンやフェアトレードコーヒー、ランチが大人気の学生運営のカフェ。各種イベントの企画・運営にも携わり、日比野商店街の一員として活躍しています。</p>	<p>地域商業 名古屋学院大学 みつばちプロジェクト</p> <p>2010年春より本学屋上を利用した蜜蜂を始動。探偵イベントや商品販売を通して、季節ごとに変わる蜜の味を紹介し、生態系を感じるまちづくりを推進します。</p>	<p>地域商業 「あつた朔日市」応援事業</p> <p>熱田神宮前商店街・あつた宮宿会と協力し、「あつた朔日市」を実施。商店街の活性化を目指し、各商店を広報するチラシ作成等の活動に取り組みます。</p>	<p>地域商業 熱田ブランド戦略プロジェクト</p> <p>熱田区役所や地域住民と連携し、熱田の歴史や文化・魅力を発信し次世代へ引き継ぐ「熱田ブランド」の確立に取り組みます。</p>
<p>地域商業 手羽先一丁目一番地ブランド事業</p> <p>「手羽先」発祥の地、熱田区。金山商店街では、多くの飲食店にて「手羽先」が提供されています。手羽先の聖地としてのブランド化を促進していきます。</p>	<p>歴史観光 「あつたか!熱田 魅力発見市」案内処</p> <p>イベント主催者の一員として運営をサポート。イベント拠点での案内、堀川遊覧船でガイド役など来場者に楽しんでもらう工夫を実践していきます。</p>	<p>歴史観光 project758</p> <p>熱田区の名所や名物から生まれたオリジナルのアニメキャラクターや、動画放映やラジオ放送、イベント等を通して、多くの視聴者に熱田区の魅力を発信します。</p>	<p>歴史観光 熱田外国語観光ガイド</p> <p>外国語学部・国際文化学部を中心とした観光案内プロジェクト。熱田神宮や白鳥庭園の英語版・中国語版ガイドの作成に取り組み、外国人旅行者に熱田区の魅力を発信します。</p>
<p>歴史観光 やきものシンポジウム</p> <p>瀬戸市の地産産業である陶磁器産業をテーマに、地域振興に関する取組を実施。教育研究事業の一環としてシンポジウムを開催しました。</p>	<p>減災福祉 熱田区地域支えあい創出事業</p> <p>熱田区社会福祉協議会と連携し、市営住宅「南熱田荘」を舞台に「自治会インターンシッププログラム」を考案、実行。「支えあい」の創出に向けた取組を展開します。</p>	<p>減災福祉 減災福祉まちづくりプロジェクト</p> <p>人々の多様性に配慮した「災害に強いまちづくり」を目指し、学生目標で啓発推進のためのプログラムを組み立て、実施し、結果を地域に還元していきます。</p>	<p>減災福祉 LINKS(SNSを活用した減災まちづくり)</p> <p>SNSを活用した減災まちづくりを展開するため、Twitterによる災害情報発信の防災訓練やIT講習会等、地域住民を対象に学生が中心となって継続的に取組んでいます。</p>
<p>減災福祉 瀬戸市の「ぬくも里まつり」</p> <p>こどもスポーツ教育学科の学生が、地域の子どもを対象としたレクリエーション運動教室を開催。学んだことを実践し、地域に還元します。</p>	<p>減災福祉 健康運動教室</p> <p>スポーツ健康学部の教員と学生がその専門性を活かし、地域住民の「健康の増進」を目指した運動プログラムを実施します。</p>	<p>減災福祉 大学生消防団</p> <p>2016年4月に地域防災支援隊として発足。学生の若い力で地域を活性化することを旨とし、熱田消防署の支援のもと、防災事業や消防団行事での住民サポート等に取り組みます。</p>	<p>減災福祉 自主防犯団体【熱田プロジェクトチーム(APT)】</p> <p>熱田警察署の指導のもと、地域での防犯PR活動を実施。特に「特殊詐欺」未然防止に力を入れています。</p>

名古屋学院大学 社会連携センター
〒456-0062 名古屋市熱田区大宝二丁目4番45号
Tel. 052-678-4085 Fax. 052-682-6813

「地(知)の拠点整備事業」
大学COC事業
PROJECT & N 詳しいお問合せは、
renkei@ngu.ac.jp



「地域の質」を高める

「地」域連携・「知」識還元型まち育て事業



NAGOYA&SETO
このまちの未来のために
今できること。

STUDY 4年間の学びのSTEP

COCC人材育成目標

- ①高いコミュニケーション能力を有し、
- ②社会の課題を主体的に発見・解決できる、
- ③地域を愛する良き市民、良き職業人を育成します。

学びの特長

「地域を学び、地域の課題を解決する」という目的を達成するために、入学して間もない1年生から4年生に至るまで、学年進行に応じて教育プログラムを進展させる「段階発展型カリキュラム」を構築しています。また、地域での「インターンシップ」や「課外活動」ともリンクさせることで、より実践的に楽しみながら地域と交流し、自己成長できるプログラムとなっています。

「地(知)の拠点整備事業」
大学COCC事業
PROJECT & N

NAGOYA&SETO

このまちの未来のために今できること。



STEP 1

まちづくり 提言コンペ

すべての学部で1年生を対象とした全学生教員参加型教育イベントです。新入生が早い段階からキャンパス周辺地域に愛着を抱くようにすること、また課題発見能力や提案力の育成を目的としています。



基礎 セミナー

全学部共通の基礎セミナーテキストに、名古屋市・瀬戸市の地域課題が掲載されており、全1年生がその内容について考えます。また、基礎セミナー担当教員の指導のもと地域の「まち歩き」を行い、まちの様子を肌で感じながら地域の課題にふれます。

公募

「基礎セミナー」で地域について学修した後、「まちづくり提言」の公募をします。学生は「地域課題を解消し、地域活性化を実現するためのアイデア」というテーマのもとつぎ、提言レポートを作成します。

選考

応募のあった「まちづくり提言」を、学内で選考。その後、名古屋市熱田区/瀬戸市の行政職員が協議し、優秀な作品が選出されます。

表彰

優秀なレポートを創作した学生には、名古屋市熱田区/瀬戸市から直接表彰状が贈られます。



STEP 2

課題解決型 授業 (PBL)

全学生が履修できるNGU教養スタンダード科目に「地域理解」分野を新設し、3つのまちづくりについて学ぶ7科目を開設。地域での実践を通して、現場重視の調査・分析・提案を行います。また、これらの科目は、リーダー格の受講生が継続履修できる「スパイラル型学習」となっています。



〈課題解決型授業一覧〉

地域商業	歴史観光	減災福祉
まちづくり学	まちづくり学	まちづくり学
まちづくり演習	まちづくり演習	まちづくり演習
上級まちづくり演習	上級まちづくり演習	上級まちづくり演習

STEP 3

地域志向型 科目

既存のNGU教養スタンダード科目や各学部の専門科目において、地域について学び研究する科目を増やしていきます。学生は、課題解決型授業で学んだ地域の課題を、各学部の教育カリキュラムにおいても引き続き学修することができます。



地域志向型科目一覧

NGU教養スタンダード 基礎セミナー、ボランティア学、ボランティア演習 等
経済学部 経済演習、産業組織論、企業経済論、都市経済学、欧米経済論、地域活性化研究、観光文化論、現代経済事情 等
現代社会学部 地域社会学、経済社会学、公共経営論、都市政策論、地域社会と法、地域コミュニティ論、観光まちづくり論、ひとまちづくり論 等
商学部 マルチメディア表現、情報社会学、情報ビジネス論、流通論、地域ブランド論、地域ブランド演習 等
法学部 リーガル・フィールドワーク、法学・憲法入門 等
外国語学部 英語プロジェクト、ツーリズム研究、ツーリズム演習、ホテル業研究、観光文化論、ホスピタリティ論 等
国際文化学部 コミュニケーション中国語、フィールドワーク、国際文化理解実践論、国際協力実践論、国際文化演習 等
スポーツ健康学部 地域スポーツ論、スポーツ社会学、生涯スポーツ論、健康社会と法、健康社会学、こどもスポーツ教育論 等
リハビリテーション学部 地域リハビリテーション演習、ヘルスプロモーション論、地域理学療法学 等

STEP 4

地域フォーラム

学部教育・研究の成果を地域に還元する全学生教員参加型イベントです。3・4年生の時に所属する演習(ゼミナール)をベースに、地域のステイクホルダー(市民・行政・企業・NPO等)と成果を共有します。このイベントは、すべての学部で開催する予定です。



地域インターンシップ

本学キャリアセンターが取り組むインターンシップ受け入れ先のうち、名古屋・瀬戸を基盤に活動する企業や行政等との連携を強化。「段階発展型カリキュラム」で学んできた学生が、地域インターンシップに参加することで地元企業の魅力や地域で働くやりがいを発見し、卒業後も地域で活躍する人材を育成します。

地域課外活動

本学学生支援課がサポートする課外活動とのつながりを深め、授業以外での地域活動へ学生が自主的に取り組んでいけるよう支援します。
(例) 学生による消防団と防犯団体による地域活動と、クラブ活動として地域の防災活動に参加する。
:課題解決型授業で減災福祉を学んだ学生がチームを結成し、継続して地域を訪問する。

就職・進学

Research

3つのまちづくりに関する課題について、地域・行政・大学が連携し、学術的な共同研究を実施しています。学内審査により、2017年度までに44件の研究案件を採択しました。
(詳細は、本学COCC事業ホームページでご確認ください。)

【例】

- 社会福祉協議会と連携し、団地住民相互のつながりの創出を目指したプログラムの企画・実施
- 地域資源をモチーフとしたキャラクタを用い、地域の魅力を発信
- 多文化共生の現状を学び、課題解決に向けたプログラムの開発
- 地域住民への健康運動教室の継続的な実施



Social Contribution Activity

地域活動

地元の祭りやイベントへ学生や教職員が参加し、地域住民との交流をはかります。



市民向け講座

「名古屋まちなかカフェ講座」など、地域の皆さまに向けたさまざまな講座を開講しています。



公開講演会

本学の教育研究活動を反映した地域課題に関する講演会やセミナーを実施しています。



市民向けイベント

3つのまちづくりをテーマに、地域住民参加型の大学主催イベントを開催しています。



高大連携事業

プロジェクトベースの連携を、本学学生や留学生も関与して進めています。



出張講義/体験授業

地域との連携を深める中で、高校生に向けた模擬講義などを実施しています。



親子に優しいまちづくり

私は名古屋学院大学に児童館をオープンさせるという案を提案させて頂きました。この案は、大学の近くにある公園で子どもだけで遊んでいる姿を見て「近くに児童館はないのか」と思ったことがきっかけで生まれました。

名古屋学院大学には様々な施設があり、近くには白鳥公園もあるため子ども達はのびのびと遊べます。また、私は外国語学部ということもあり、英会話教室を開きたいと考えました。2020年から小学3年生で英語が必修化され、5年生で教科化されるので、それに向けた対策にもなると考えます。

私はこの案に決めた際、自分が親になった時どのような街だと安心して暮らせるかを第一に考えました。私は親になってからも働きたいと思っていますし、実際そう考える人は多いと思います。しかし私は子どもを一人にすることは避けたいです。そのためには街の協力が欠かせないと考えます。子どもにとって安全で楽しく過ごせる場所、親にとって安心して子どもを預けられる場所の一つとして名古屋学院大学を開放し利用すればさらなる地域発展に繋がると私は考えます。

名古屋学院大学児童館オープン!

児童館には、子どもたちが安心して遊べる場所、そして、保護者の方々が安心して子どもを預けられる場所があります。児童館のオープンにより、地域の子どもたちにとって、安全で楽しい遊び場が生まれ、保護者の方々の負担も軽減されます。

児童館のオープンに際しては、地域の皆様からのご協力をお願いいたします。児童館のオープンにより、地域の子どもたちにとって、安全で楽しい遊び場が生まれ、保護者の方々の負担も軽減されます。

(2018年度まちづくり提言コンペ最優秀賞作品(名古屋キャンパス))

まちづくりに関する
学生を応援します!

「まちづくりマイスター」認定プログラム

まちづくりに関する科目単位の修得や外部資格を取得した学生のうち、一定の基準を満たした者を「まちづくりマイスター」として認定しています。

▼初級まちづくりマイスター(地域商業・歴史観光・減災福祉)

<3つのまちづくり分野ごとに認定を行います>

まちづくり学 + まちづくり演習

▼上級まちづくりマイスター(地域商業・歴史観光・減災福祉)

まちづくり学 + まちづくり演習 + 上級まちづくり演習(1)

+ 外部資格(2)

- (1) 減災福祉においては、「ボランティア演習」でも可
(2) 外部資格<地域商業>ボランティアコーディネーション能力検定3級資格取得
<歴史観光>観光地づくりに関する人材育成プログラム(COCC+事業)への参加・修了
<減災福祉>ボランティアコーディネーション能力検定3級資格取得又は災害ボランティアコーディネーター養成講座修了



上級
まちづくり
マイスター認定
学生より

現代社会学部(歴史観光分野)
田附 萌香

観光業に興味があり、歴史観光の授業を継続して履修しました。座学と演習を学んだ上で、実際に旅館でのインターンシップに参加し、より観光業の内側へ踏み込むことができました。多くの発見があったとともに将来へのイメージがつかみやすくなりました。

現代社会学部(減災福祉分野)
伊藤 千尋

この授業では、減災福祉だけでなく様々なことを学びました。1つの事柄を多面的にみることや、人と話す力をつけることができました。他の授業にはない、人との繋がりをもてるのが魅力です。

Topic

社会人の学び直しをサポートします!

2007年の学校教育法改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。この制度を活用し、本学の「まちづくり」に関連する授業科目を体系的に構成した「まちづくり新修プログラム」を2015年度に新設しました。「地域経済を元気にしたい」「地域の歴史をもっと世の中に届けたい」「地域の防災を強化したい」など「まちづくり」に興味のある社会人の皆さん、本学学生と一緒に、学びながら地域を盛り上げていきましょう!